

乙羽信子 俳優。宝塚娘役で人気抜群も、映画に転身して演技派女優となり、TV「おしん」で完璧な演技を見せた。

おとわのぶこ

護憲三派圧勝1924 = 鳥取県西伯郡米子町で、大阪の魚問屋助台孝太郎の子に生まれる。母は米子出身の大阪の芸者山登たけこ。父の家に引き取られ、大阪で育ち、

まもなく、饅頭屋の養女となり、神戸に移る。

満州事変・・・1931 = 7歳：

小学校の時から、日本舞踊を習い、

国際連盟脱退1933 = 9歳：

養父の姉に連れられて宝塚歌劇を見に行くうち、憧れるようになり、

日中戦争始・・・1937 = 13歳：宝塚音楽歌劇学校に入校、

健保+総動員 1938 = 14歳：本科に進み、越路吹雪・月丘夢路らと同期になり、

第二次大戦始1939 = 15歳：卒業。宝塚少女歌劇団(翌年から宝塚歌劇団)生徒となる。乙羽信子を芸名に「宝塚花物語」で初舞台。

日米開戦・・・1941 = 17歳：

・・・・・・1942 = 18歳：

敗戦・・・・・・1945 = 21歳：敗戦後、

新憲法施行・・・1947 = 23歳：再開された公演で、トップ娘役として淡島千景と人気を二分、宝塚歌劇団第一期黄金時代を支えるが、

娘役に限界を感じ、松竹入りした淡島千景に倣うように、

朝鮮戦争始・・・1950 = 26歳：退団し、大映に入社、「百万ドルのえくぼ」をキャッチフレーズに「処女峰」で映画界にデビュー。

独立回復・・・1951 = 27歳：溝口健二監督「お遊さま」。新藤兼人の監督第1作「愛妻物語」に出演し、演技力を認められる。

メーデー事件・・・1952 = 28歳：大映の反対押切って、新藤らが設立した近代映画協会の「原爆の子」に出演し、近代映協同人となる。

テレビ放送始・・・1953 = 29歳：新藤監督「縮図」「女の一生」、吉村公三郎監督「欲望」で清純派女優のイメージをかなぐり捨てたりリアルな演技をみせ、ブルー・リボン主演女優賞を受賞、演技派女優としての地位を固める。

55年体制始・・・1955 = 31歳：吉村公三郎監督「美女と怪龍」

その後も「どぶ」「人間」「母」「竹山ひとり旅」など新藤作品で、汚れ役に徹した迫真の演技を披露。

美智子妃・・・1959 = 35歳：稲垣浩監督「日本誕生」。テレビでも、日本テレビ「ママちょっと来て」で茶の間の人気者となる。

安保闘争・・・1960 = 36歳：成瀬巳喜男監督「秋立ちぬ」。*せりふの一切無い実験的映画「裸の島」に主演、モスクワ映画祭グランプリとなるなど、世界的に高い評価を得、自らの代表作となる。

タイタイ病始・・・1961 = 37歳：松林宗恵監督「世界大戦争」。

東京リトル・ジャックス 1964 = 40歳：「鬼婆」。木下恵介監督「香華」。

美濃部都知事1967 = 43歳：松山善三監督「父と子」。

全共闘・・・・・・1969 = 45歳：「触覚」。岡本喜八監督「赤毛」。

ド・ムシヨック・・・1971 = 47歳：「裸の十九才」。

石油ショック1973 = 49歳：「心」。豊田四郎監督「恍惚の人」。

長い間新藤と愛人関係にあったが、

成田衝突・・・・1978 = 54歳：新藤の妻の死去後に、正式に結婚。

革新大敗北・・・1979 = 55歳：「絞殺」でベネチア国際映画祭の最優秀主演女優賞に輝く。

貿易摩擦問題1980 = 56歳：村田雄浩監督「思えば遠くへ来たもんだ」。

・・・・・・1981 = 57歳：自伝「どろんこ半生記」、

中曽根内閣・・・1982 = 58歳：

テレビ「おしん」では老年時代のおしんを演じ、完璧な演技力でドラマを締めくくった。

・・・・・・1984 = 60歳：大林宣彦監督「天国にいちばん近い島」

バブル始・・・・1986 = 62歳：映画「落葉樹」。舞台での活躍もめざましく、

竹下登内閣・・・1987 = 63歳：

リクルート事件・・・1988 = 64歳：「流れる」と、

昭和天皇没・・・1989 = 65歳：「古都憂愁」で菊田一夫演劇賞を受賞。この年、紫綬褒章を受章。

バブル崩壊・・・1992 = 68歳：「墨東綺譚」で毎日映画コンクール助演女優賞を獲得。

55年体制終・・・1993 = 69歳：*肝臓ガンとなり、「晚菊」を最後の舞台とし、大女優の最後を飾るべく新藤がメガホンとった杉村春子と共演の「午後の遺言状」完成直後、

自社さ連立・・・1994 = 70歳：没した。